

## 事業実績報告書

事業名	東北地区スポーツ栄養普及事業	団体名	青森スポーツ栄養研究会
研修・講習会名	第4回東北地区スポーツ栄養研修会		
開催日時	平成29年11月26日(日) 10:00～15:30	開催場所	土手町コミュニティパーク コミュニケーションプラザ
事業の内容	<p>10:00～10:10 開会挨拶</p> <p>10:10～11:10 講演Ⅰ「スポーツ栄養士との連携について」 スポーツドクター 津田 英一 氏</p> <p>11:10～12:10 講演Ⅱ「スポーツファーマシストとスポーツ栄養の連携」 スポーツファーマシスト 川村 仁 氏</p> <p>13:10～13:25 情報提供 大塚製薬株式会社 様</p> <p>13:25～15:00 講演Ⅲ ①「アスレティックトレーナーとスポーツ栄養」 青森県アスレティックトレーナー会長 近江 俊正 氏 ②「簡単なテーピングの巻き方」 あおもりワッツトレーナー 桜田 慎司 氏</p> <p>15:00～15:30 公認スポーツ栄養士として活動報告・情報交換 公認スポーツ栄養士 太田 茂子 氏 公認スポーツ栄養士 松本 範子 氏</p>		
事業全体の成果	<p>本研修会では、スポーツ現場で栄養サポートを実施する際、他職種と連携することは選手の競技力向上にとって重要であるため、他職種の専門領域について学び、公認スポーツ栄養士の役割と連携のあり方について理解する機会となることを目的として開催した。</p> <p>4名の講師をお迎えし、スポーツドクターからは主に疲労骨折と栄養の関連性と、他職種が連携を取りながら行っている陸上検診の様子などもお話しいただいた。スポーツファーマシストからは主にサプリメントについて、現状と事例を紹介しながら薬剤師と栄養士の連携なしにドーピングを防ぐことは出来ないなど、連携の必要性を認識させられる内容であった。トレーナーからは帯同時における遠征先での食事内容や、実際の現場でのテーピングの巻き方など、実技も交えながら新しい分野について知識を得ることができた。</p> <p>当日は、栄養士以外にも薬剤師やトレーナー、学生合わせて64名が参加し、初年度行われた、いわてスポーツ栄養研究会が主催した研修会に引き続き、公認スポーツ栄養士を始め、選手を支える他職種の役割について理解を深めることができた。また、事後アンケートからも本研修会が好評であったことが窺えた。</p> <p>今後は、東北地区におけるスポーツ栄養の発展のためにも、栄養サポートに関する情報を共有し、他職種と連携を強化できるように研修会の開催を継続していきたいと考える。</p>		